

平成30年3月定例会 滑川市教育委員会会議録

- 1 開催日時 平成30年3月20日(火)午後1時～
- 2 開催場所 市役所本館3階 大会議室
- 3 委員の定数 5名
- 4 委員の現在数 5名
- 5 出席委員氏名 吉田達郎 水野敏江 石原大三 大橋央 伊東眞
- 6 欠席委員氏名 なし
- 7 説明のため出席した者の職氏名
事務局長 膳亀 進
学務課長 石倉 裕子
生涯学習課長 地崎 紀子
スポーツ課長 落合 真理子
子ども課長 石川 美香
教育センター所長 藤井 克弘
学務課長補佐 石井 正広

8 会議に付した事項

日程第1 前回会議録の承認について

日程第2 教育長の報告

日程第3 議決事項

- 議案第4号 平成30年度教育委員会重点施策について
- 議案第5号 滑川市地区公民館主事補の任命について
- 議案第6号 滑川市中加積地区公民館長の退任について
- 議案第7号 博物館協議会委員の任命について

日程第4 報告事項

- ・市議会3月定例会の質問事項等について
- ・指定学校変更、区域外就学について
- ・平成30年度 小・中学校入学式について
- ・第3回社会教育委員会会議の結果報告について

日程第5 その他

- ・教育・保育施設の利用定員について
- ・市長と語る会について

9 会議の要旨

吉田委員長

それでは、ただいまから3月定例会を開会する。

日程第2「前回会議録の承認」について、事前に会議録を送付しているが、

これについてご意見、ご質疑等はないか。

(異議なし)

吉田委員長 異議がないので、前回会議録は承認されたものとする。
続いて、日程第2 教育長の報告をお願いします。

伊東教育長 (業務経過等について 資料に基づき報告)

吉田委員長 ただいまの教育長報告について、ご意見、ご質疑等はないか。
台湾と市立学校はどのような交流をしているのか。

伊東教育長 寺家小が4年間、早月中学が2年間、インターネットのスカイプを使い、海外と交流し、現在台湾の学校と交流している。台湾とは時差が少なく、スカイプで交流をしやすい。相手校の教員が市内学校を訪問した。今後の交流について、それぞれの学校と話をしている。

吉田委員長 シャンバーグとの交流は。

伊東教育長 東加積小がペンパル、手紙を通じて交流をしている、スカイプによる交流は、学校の授業の中でとなると時差があるので難しい。台湾のようにネイティブでない方と英語を使うと互いにわかりやすく交流できる。

吉田委員長 日程第3 議案第4号 平成30年度教育委員会重点施策について説明願う。

石井課長補佐 (議案第4号 平成30年度教育委員会重点施策について説明)

吉田委員長 ただ今の説明について、何かご質問等はないか。

水野委員長 職務代理者 「新川文化ホールで行われる大規模な舞台芸術を気軽に鑑賞できるように支援を行う。」とあるが、詳しく説明して欲しい。

地崎課長 教育委員会で指定した公演に対し、観覧希望者のチケット代の助成を行うもの。予算としては、上限2,000円×150人分を計上している。

水野委員長 職務代理者 平成30年度のみのも事業か？

地崎課長 今のところ30年度のも事業。継続については検討したい。

吉田委員長 これは、個人に対する助成か？

地崎課長 個人に対する助成。

水野委員長 職務代理者 割引券を提示して、利用するのか？

地崎課長 現在のところそのように考えている。利用者の負担にならない方法を考えた
い。今後、新川文化ホールと協議し、方法を決めたい

水野委員長
職務代理者 「気軽に」という言葉はどうなのだろうと。

伊東教育長 「気軽に」という言葉カットしましょう。

吉田委員長 第4号議案について「気軽に」という言葉をカットし、承認することでよい
か？

地崎課長 (一同賛成)

吉田委員長 賛成全員で議案第4号は一部修正のとおり承認された。
引き続き議案第5号 滑川市地区公民館主事補の任命について説明願う。

地崎課長 (議案第5号 滑川市地区公民館主事補の任命について説明)

吉田委員長 ただ今の説明について、何かご質問等はないか。

(なし)

吉田委員長 第5号議案について、承認することにご異議はないか。

(異議なし)

吉田委員長 賛成全員で議案第5号は原案のとおり承認された。
引き続き議案第6号 滑川市中加積地区公民館長の退任について説明願う。

地崎課長 (議案第6号 滑川市中加積地区公民館長の退任について説明)

吉田委員長 後任について、本日案はあるのか？

地崎課長 ただいま地区で話をしており、本日はない。

伊東教育長 退任日は3月20日か？

地崎課長 3月31日付で願いが出ているため。3月31日としたい。

吉田委員長 第6号議案について、承認することにご異議はないか。

(異議なし)

吉田委員 賛成全員で議案第6号は原案のとおり承認された。
引き続き議案第7号 博物館協議会委員の任命について説明願う。

地崎課長 (議案第7号 博物館協議会委員の任命について説明)

- 吉田委員長 第7号議案について、承認することにご異議はないか。
- (異議なし)
- 石倉課長 賛成全員で議案第7号は原案のとおり承認された。
- 吉田委員 日程第4 報告事項 市議会3月定例会の質問事項等については、過日資料を渡しているのので、質問等あればおっしゃってください。
- 石原委員 小規模校についての質問について意見がある。
教育にはお金がかかる。市の財政を圧迫しない限りは、統廃合は必要ない。小さい子どもは、歩いて通える学校がよい。地域コミュニティが見えるから。自転車、バスで通うと地域コミュニティが見えない。小さい子どもに限って言えば、小規模校は理想の学校。教育は、究極的には個別指導が最善。小規模校になれば個別指導に近づく。結局は費用対効果、市の財政が許す限り小規模校の存続を考えるべき。
魚津市の小中学校や、県立高校の統廃合が進んでいるが、統廃合をしないことが、教育行政の怠慢ととられるのがおかしい。統廃合は世の中の流れかもしれないが、結局は費用対効果、子どもファーストに立ってほしい。
部活動についての質問についても意見がある。
高い目標を持つ子ども、活動意欲の高い子どもを育てる必要はあるが、真ん中の子を教育していないために、学力も2極化が進んでいる。スポーツにおいても上の子だけを育てると、競技人口が減る。トップ集団だけ集めて育てるのは、公教育の平等に反する。スポーツを通して心身の成長とスポーツの喜びを知ることが大切。
- 吉田委員長 オリピックに出る選手を学校で育てるものではない。スポーツをする以外に、スポーツを観るといって座学も必要。スポーツにはいろんな分野があり一部だけ取り上げるといろんな問題が出る。
小規模学校について無くすのではなく、育てるということを市の施策とすると市長がおっしゃって安心した。学校がつぶれたらコミュニティがなくなる。新しい人をどう呼び込むかを考えるのが先で、学校をなくす、統合するという議論が先に来るべき問題ではないと思う。
- 石原委員 財政の問題で統廃合ということもあるが、個人的には小規模校も存続させてほしい。
- 吉田委員長 那須塩原に視察で行った学校は全学年で30人ほどだった。みんなが一緒にやれるのは小規模学校の良いところ。
- 伊東教育長 県の定義では、複式学級のある学校が小規模校であり、滑川市には小規模学校は現在のところない。
- 吉田委員長 67人の生徒が6年後には40人になる。その前提の質問だった。

石倉課長	その時は複式学級になる。急に対応できないことを心配しての質問かなと思う。
吉田委員長	部活とスポ少の関係について詳しく教えてほしい。
伊東教育長	滑川市の場合、小学校には部活がないので、小学生はスポ少やクラブで活動することになる。中学校にはスポ少がないので、中学生は学校での部活か地域のクラブで活動する。種目によっては、クラブに入っていると部活の試合に出場できないことなどがある。
石原委員	子どもにとって、部活動や学校以外の活動でも同じ。どこで学んでも同じ。我々が区別しているだけ。指導者が違うだけ。 社会スポーツがあるのに、学校スポーツに頼りながら、オリンピックを目指す。その辺を整理整頓する必要がある。
伊東教育長	学校で行うものと、外で行うものを両方振興する必要がある。
吉田委員長	オリンピックにできるなら学校でやるのではなく、その道に進む必要がある。
石原委員	できない子にこそ手をかけるのが教育の本質。 報告事項 指定学校変更、区域外就学について説明願う。
石倉課長	(指定学校変更、区域外就学について説明)
吉田委員長	報告事項 平成30年度 小・中学校報告入学式について説明願う。
石井課長補佐	(平成30年度 小・中学校入学式について説明)
石原委員	入学式、卒業式以外の学校行事についても地域に根差した教育委員として出席したいと思うので、案内をいただければと思う。
石倉課長	教育委員の皆様に学校から案内するようにする。
吉田委員長	報告事項 第3回社会教育委員会会議の結果報告について説明願う。
地崎課長	(3回社会教育委員会会議の結果報告について説明)
吉田委員長	日程5 その他 について説明を願う。
石川課長	(教育・保育施設の利用定員について説明)
石井課長補佐	(市長と語る会について)
石原委員	教育・保育施設の利用定員はどのように決めるのか?
石川課長	4月以降の利用希望者と在園児の数を施設に伝え、施設が保育士等の数、施

設の面積を考慮して利用定員を考える。定員を減らす場合は、2年連続定員に足りていないことが必要。国が決めている子ども一人あたりの基準額である公定価格は、定員が少なくなるほど単価が上がることとなっているため、定員が減っても運営はしていける仕組みとなっている。

吉田委員長 ニーズに対して保育士は足りているのか。

石川課長 市内全体のニーズに対しては足りているが、利用希望者に対し保育士が足りていない施設もある。

吉田委員長 最後に4月の行事予定をお願いします。

石井課長補佐 (4月行事予定について説明)

吉田委員長 何か質問はあるか。

(次回の定例会の開催を4月18日(木)に午後3時に決定)

以上で本日の日程は全て終了しました。これで教育委員会3月定例会を閉会する。本日はどうもご苦労さまでした。

(午後2時57分終了)